

平成30年度

学生募集要項

大学院複合芸術研究科

修士課程

一般入試・推薦入試

秋田公立美術大学

AKITA UNIVERSITY OF ART

秋田公立美術大学複合芸術研究科複合芸術専攻（修士課程）学生募集日程

1 推薦入試

試験区分	一般推薦
募集人員	若干名 ※注
出願期間	平成29年8月23日（水）～8月30日（水）
一次選考	一次選考（書類審査）は免除とする。
二次選考	平成29年9月20日（水） 13:00～17:00 面接
合格発表	平成29年9月29日（金）
入学手続期間	平成29年11月20日（月）～11月30日（木）

※注 募集人員は、一般入試募集人員の内数とする。

2 一般入試

試験区分	第1期募集	第2期募集
募集人員	複合芸術研究科 複合芸術専攻 10名 ※注	
出願期間	平成29年10月10日（火）～10月16日（月）	平成30年2月13日（火）～2月19日（月）
一次選考	書類審査 一次選考（書類審査）において記述試験へ進むことを認めた者には二次選考受験票を送付する。	
二次選考	平成29年11月4日（土） 9:30～11:30 記述試験 13:00～17:00 面接	平成30年3月13日（火） 9:30～11:30 記述試験 13:00～17:00 面接
合格発表	平成29年11月15日（水）	平成30年3月19日（月）
入学手続期間	平成29年11月20日（月）～11月30日（木）	平成30年3月20日（火）～3月26日（月）

※注 募集人員は、第1期と第2期を合計した人数である。入学志願者は、第1期と第2期のいずれか、または両方を受験することができる。

秋田公立美術大学複合芸術研究科複合芸術専攻（修士課程）

○大学院概要

■教育目的及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、多様化する現代芸術領域と複雑化する地域課題を踏まえて、表現技術の複合、アートマネジメント、ソーシャルデザインなど、芸術的感性を実社会への価値提供や課題解決につながる実践的手法を教育・研究することで、一人ひとりの個性を尊重した専門性のさらなる深化の追求や新たな芸術表現の創出、より本質を捉えた地域貢献を図ることを目的としている。この目的を達成するため、本研究科が求める人材像を次のとおりとする。

- ① 新しい芸術を探求する意欲のある人
- ② グローバルな視野と地域への視点を併せ持つ人
- ③ 他者と協働しながら主体的に制作や研究に取り組める人

■教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科の教育目的達成に向けた基本的な教育課程編成等の考え方を、以下にカリキュラムポリシーとして示す。

- ① 自らの表現手法を他の芸術領域もしくは芸術とは異なる領域と複合させる経験を通じて、主体的に新しい芸術を探求していく力を養う。
- ② 社会の動向や地域特性を捉え、他者と連携しながら、美術・デザインの方法論によって具体的な提案を行える実践力を養う。
- ③ 現代芸術領域に関する複合的な研究を通して、新たな領域の拡張に関する理論構築を試みながら、その成果を広く発信していく力を養う。

■学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科の修了に際しては、以下の能力を備えることを基準とする。

- ① 異なる分野と複合させながら既存の枠にとらわれない新しい芸術を探求する能力
- ② 現代社会の動向や地域特性を捉え、美術・デザインの方法論を通じて、問題解決へつなげる具体的な提案ができる能力
- ③ グローバルな視野を持ちながら現代芸術領域の研究や実践を評価・検証し、その成果を発信する能力

■研究科名及び学位

研究科名：複合芸術研究科 [Graduate School of Transdisciplinary Arts]

専攻名：複合芸術専攻 [Course of Transdisciplinary Arts]

学位：修士（美術） [Master of Art]

■研究指導教員一覧（科目専任教員含む）

専 門	指 導 教 員
ソーシャルデザイン	尾 登 誠 一 教授（研究科長）
ビジュアルアート	小 田 英 之 教授
アートプロジェクト	藤 浩 志 教授
プロジェクト型アート	岩 井 成 昭 教授
プロダクトデザイン	今 中 隆 介 教授
美術史	志 邨 匠 子 教授
アーバン・スタディーズ	岸 健 太 教授
情報科学	飯 倉 宏 治 教授
映像メディア	萩 原 健 一 准教授
アートマネジメント／キュレーション	服 部 浩 之 准教授
芸術人類学	石 倉 敏 明 准教授（科目専任）

秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科（修士課程）学生募集要項

1 募集人員

複合芸術研究科複合芸術専攻 10名

2 標準修業年限

2年

3 出願資格

【推薦入試】

- (1) 平成30年3月に大学を卒業見込みの者で、かつ、学業成績、人物ともに優れ、出身大学の学長（学部長）から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を平成30年3月までに授与される見込みの者で、かつ、学業成績、人物ともに優れ、出身校の長等から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者

【一般入試】

- (1) 学校教育法第83条の大学を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者および平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および平成29年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および平成30年3月修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに22歳に達する者

※出願資格(1)～(8)に該当しない者で、出願資格(9)により出願を希望する者は、出願資格認定審査の手続きを要するため、必ず事前に学生課教務班に申し出て、指示を受けたうえで、9月25日(月)までに必要書類等を提出してください。

4 出願書類等

	出願書類	出願書類作成上の注意	一般入試	推薦入試
(1)	入学志願票・受験票・研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学所定の用紙を使用し、必要事項をもれなく黒のペンかボールペンで記入してください。 ・ 写真欄に3カ月以内に撮影した無帽上半身のものを貼付してください。 ・ 研究計画書はワープロソフト等による印字を可とします。所定様式は、本学ホームページからダウンロードできます。(フォントサイズは9～11ポイントとしてください。) 	○	○
(2)	出願資格を証明する書類および成績証明書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学の卒業(見込)証明書および成績証明書 ・ 出願資格(2)により出願する者については学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書、授与見込みの者は学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書、および基礎資格となる学校の成績証明書を提出してください。 	○	○
(3)	入学検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学検定料17,000円を本学所定の入学検定料振込用紙を使用して金融機関で振り込み後、入学検定料納付証明書(大学提出用)を入学志願票の所定の貼付欄に貼付してください。 	○	○
(4)	受験票等返送用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学所定の受験票等返送用封筒に、受験票送付先の住所、郵便番号、氏名等を記入してください。 	○	○
(5)	書類審査関係書類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書類審査を行うための資料を以下の①～③から一つ選択して提出してください。 ① ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3～5点までまとめたもの。ポートフォリオの大きさはA4版、またはA3版とし、各作品に関する解説文を付すこと。なお、実作品はポートフォリオとして認めない。 ※返却を希望する場合は、(4)の封筒とは別に、ポートフォリオが入る返却用封筒等に志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、必要額の切手を貼り付けて提出書類に同封すること。 ② 論文(卒業済) 過去3年以内に執筆したもの。卒業論文、または同等の論文。 部数は3部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※外国人出願者が英語の論文を提出する場合は、2,000字程度の日本語の要旨をつけて提出すること。 ③ 論文(29年3月卒業見込) 研究分野に関する論文、もしくは卒業論文(草稿可)。部数は3部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※外国人出願者が英語の論文を提出する場合は、2,000字程度の日本語の要旨をつけて提出すること。 	○	×
(6)	推薦書	<p>本学所定様式を使用し、出身大学の学長等(学部長)が発行したものを、厳封した上で提出してください。(ワープロソフト等による印字可。所定様式は、本学ホームページからダウンロードできます。)</p>	×	○

※入試区分毎に「○」の付されている出願書類を提出してください。
(「該当者」が付されている箇所は対象者のみ提出してください。)

	出願書類	出願書類作成上の注意	一般入試	推薦入試
(7)	研究概要	自身のこれまでの研究や制作活動をA4版の任意様式(2枚以内)にまとめ、提出してください。(提出様式には写真画像や表などを貼り付けても構いません。)※必ず氏名を記載すること。	×	○
(8)	外国人出願者が提出するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人出願者は以下の①～③のうち、該当するもの全てを提出してください。 ① 在留カードまたは外国人登録証明書の写し 現在、日本に在留している者は、在留カードまたは外国人登録証明書の写しを提出すること。 ② 国費留学生証明書 他大学に在籍している国費外国人留学生は、その大学が発行した国費留学生証明書を提出すること。 ③ 日本語能力試験の成績通知書 日本語能力試験の成績通知書(コピー可)を提出すること。提出できない場合は、日本語学校の成績証明書、あるいは日本語を専門とする語学教員による日本語能力の証明書(様式は任意)を提出すること。なお、日本の大学を卒業、卒業見込の者は除く。 	該当者	該当者

※入試区分毎に「○」の付されている出願書類を提出してください。
(「該当者」が付されている箇所は対象者のみ提出してください。)

5 出願受付期間

推薦入試	一般推薦	平成29年8月23日(水)～8月30日(水)
一般入試	第1期募集	平成29年10月10日(火)～10月16日(月)
	第2期募集	平成30年2月13日(火)～2月19日(月)

※ 郵送による出願は、出願締切日の消印を有効とします。(書留速達郵便で郵送してください。)
直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。(土曜、日曜を除く)

6 出願書類提出方法

出願書類を一括取り揃え、本学所定の出願書類用封筒に入れ、書類審査関係書類(ポートフォリオまたは論文)と一緒に書留速達郵便で郵送するか、直接持参してください。

送り先 〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号
秋田公立美術大学事務局学生課
TEL : 018-888-8105

7 一次選考(書類審査)結果の通知(一般入試のみ)

上記の出願手続を行った者のうち、本学大学院が、受験資格を有すると認定し、一次選考(書類審査)において二次選考へ進むことを認めた者には二次選考受験票を送付します。また、一次選考において不合格となった者には、その旨を通知します。

なお、推薦入試出願者については、一次選考(書類審査)は免除となります。

8 試験日程及び試験内容

		出願期間及び試験日時		試験内容および試験方法
一般 推薦 考	二 次	平成29年 9月20日(水)	13:00～ 17:00	面接 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、15分程度の質疑応答を行う。 ※出願時に提出された研究概要(A4用紙2枚以内)についての質疑も行う。
	募 集	出願期間 平成29年10月10日(火) ～10月16日(月)	書類審査	①ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3～5点までまとめたもの。 ※A4版、又はA3版とする、解説文を付すこと ②論文(卒業済) 過去3年以内に執筆した卒業論文、または、同等の論文。※2,000字程度の要旨を添付 ③論文(30年3月卒見込み) 研究分野に関する論文、もしくは卒業論文(草稿可)。※2,000字程度の要旨を添付
第 1 期	二 次	平成29年11月4日(土)	9:30～ 11:30	記述試験 テーマに基づく記述試験2問、英語試験1問。 ※以上3問から2問を選択
	募 集		13:00～ 17:00	面接 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、15分程度の質疑応答を行う。
第 2 期	二 次	出願期間 平成30年 2月13日(火) ～2月19日(月)	書類審査	①ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3～5点までまとめたもの。 ※A4版、またはA3版とする、解説文を付すこと ②論文(卒業済) 過去3年以内に執筆した卒業論文、または、同等の論文。※2,000字程度の要旨を添付 ③論文(30年3月卒見込み) 研究分野に関する論文、もしくは卒業論文(草稿可)。※2,000字程度の要旨を添付
	募 集	平成30年 3月13日(火)	9:30～ 11:30	記述試験 テーマに基づく記述試験2問、英語試験1問。 ※以上3問から2問を選択
	二 次		13:00～ 17:00	面接 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、15分程度の質疑応答を行う。

※面接について

プレゼンテーションで使用するパーソナルコンピュータ、タブレット等は持参してください。

なお、USBメモリでデータを持参し、本学で用意する機器を使用することも可とするが、接続やデータの読み込み等でプレゼンテーションに支障を来した場合は本人の責任とします。

※面接会場に常備しているもの

① パーソナルコンピュータ

- ・Windows(OS:Windows10、Microsoft Office2013)

- ・Mac (OS : mac OS Sierra、Keynote)
 - ② プロジェクタ (解像度は、WXGA (1280×768pixel) 程度)
 - ③ スピーカ (PC 用小型スピーカ)
 - ④ コンピュータとプロジェクタを接続するケーブル (HDMI ケーブル) 持参したコンピュータから HDMI ケーブルに接続する変換コネクタは、各自で用意してください。
 - ⑤ コンピュータとスピーカを接続するケーブル (3.5mm ステレオミニジャックケーブル)
- ※プレゼンテーションで使用するコンピュータ等とプロジェクタとの接続テスト (任意)
- ① 受験者控え室にプレゼンテーション会場と同じ接続環境を用意する。希望者は持参したコンピュータ等を接続し、投影等の確認をすることができます。
 - ② ネットワーク接続環境は用意していないので、各自準備するかローカルで動作するようにデータを作成してください。
 - ③ プレゼンテーションでの機器の接続や設定は、各自で行ってください。

9 選抜方法

推薦入試	面接、研究計画書および研究概要、成績証明書等を総合して判定します。
一般入試	記述試験、面接および研究計画書、成績証明書等を総合して判定します。

10 試験場所

秋田公立美術大学 (秋田市新屋大川町12番3号)

11 合格発表

推薦入試	一般推薦	平成29年9月29日 (金) 午前10時 (予定)
一般入試	第1期募集	平成29年11月15日 (水) 午前10時 (予定)
	第2期募集	平成30年3月19日 (月) 午前10時 (予定)

本学合格発表掲示板 (附属図書館入口前) に掲示し、本学ホームページに掲載します。また、合格者には文書で通知します。電話による問合せには一切応じません。

12 入学手続期間

推薦入試	一般推薦	平成29年11月20日 (月) ~11月30日 (木)
一般入試	第1期募集	平成29年11月20日 (月) ~11月30日 (木)
	第2期募集	平成30年3月20日 (火) ~3月26日 (月)

※ 直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。(土曜、日曜を除く)

※ 入学手続時に提出された書類および納入された入学金は返還しません。

13 入学金・授業料

- (1) 入 学 金 秋田市内居住者 282,000円 } (入学手続時に納入)
 上記以外の者 423,000円 }

- (2) 授 業 料 年額 535,800円 (前期、後期に分割し、5月および10月の末日に納入)

※ 「秋田市内居住者」とは、本学入学の1年前から引き続き秋田市内に住所を有する者をいう (その配偶者または1親等の親族がこれに該当する者を含む)

14 その他の納入金（予定）

- (1) 傷害保険等（2年分） 2,430円
- (2) 後援会費（2年分） 40,000円
- (3) 学生会費（2年分） 3,000円

※ (2)(3)の入会は任意です。

※ 所要見込額は上記のとおりですが、改定される場合があります。

※ その他、教科書・用具・材料費等の学修経費が別途必要です。

15 試験成績の照会

受験者本人からの照会に対してのみ回答します。希望者は、下記の期間に本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（免許証、健康保険証、パスポートなど）を郵送または持参してください。（一次選考不合格者は受験票不要）

郵送の場合は、本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（同上）のコピー、長形3号の返信用封筒（受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記載し、82円分の切手を貼付したもの）を同封のうえ、照会してください。

※請求期間：平成30年5月1日（火）から5月31日（木）まで（土・日・祝日を除く）

16 個人情報の取扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、「公立大学法人秋田公立美術大学個人情報保護規程」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学選抜（出願処理および選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務を行うために利用します。
- (2) 入学選抜の試験成績は、今後の入学選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 入学者の個人情報については、①教務関係業務（学籍、修学指導等）、②学生支援関係業務（奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

17 受験上の注意事項

- (1) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。やむを得ない事情により遅刻した場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (2) 試験室に入室してから試験終了までは、退室できません。
- (3) 試験時間中に休憩時間がある場合、休憩時間であっても試験会場外に出ることができませんので、あらかじめ昼食を持参してください。
- (4) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、不正防止のため必ず電源を切り、かばん等にしまってください。係員の指示があった後に電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っている、不正行為となることがあります。（休憩時間を含む）
- (5) 配付された問題冊子は試験室から持ち出すことはできません。
- (6) 受験票が試験日7日前になっても到着しない場合は、本学事務局に問い合わせてください。
- (7) 受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も保管しておいてください。

18 交通アクセス・キャンパスレイアウト

秋田公立美術大学

〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町12-3

電話 018-888-8105

ファックス 018-888-8101

E・メール kyomu@akibi.ac.jp



大学までの交通機関

- ・鉄道 JR秋田駅下車 秋田駅西口から秋田中央交通バス乗り換え
JR秋田駅から羽越本線「新屋駅」下車 徒歩15分
- ・バス 秋田駅西口バスターミナル ⑦番のりば
秋田中央交通バス 新屋線「美術大学前」下車（乗車約25分） 徒歩1分
- ・航空機 秋田空港から リムジンバス 秋田駅西口下車（乗車約45分）
秋田駅西口から 秋田中央交通バス乗り換え
- ・自動車 秋田自動車道 秋田南ICから約15分